

2016 Women's Asian Champions Trophy (SINGAPORE)

大会名	2016 Women's Asian Champions Trophy	日付	2016/11/1
場所	SINGAPORE	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	1勝1分

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN	2	0 中国 CHINA																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 10%;">1P</td> <td style="width: 10%;">0</td> <td style="width: 10%;">-</td> <td style="width: 10%;">0</td> </tr> <tr> <td>2P</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3P</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4P</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </table>			1P	0	-	0	2P	1	-	0	3P	1	-	0	4P	0	-	0
1P	0	-	0															
2P	1	-	0															
3P	1	-	0															
4P	0	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	錦織 えみ	
✓	3	浅井 悠由	
✓	4	藤井 美沙	
✓	5	阪口 真紀	C
16	6	内藤 夏紀	
✓	7	西村 綾加	
8	8	真野 由佳梨	
✓	9	永井 葉月	
✓	10	湯田 葉月	
6	11	野村 香奈	
6	13	三橋 亜記	
✓	14	清水 美並	
7	15	永井 友理	
	16	大塚 志穂	
✓	17	狐塚 美樹	
	18	要石 理沙子	GK
✓	19	平原 文音	
コーチ		長谷部謙二	
UMPIRE		KITTITEERASOPON Ornpimol (THA)	

Start	No.	Name	備考
✓	2	OU Zixi	
✓	3	SHAN Zhuo	C
✓	4	ZHANG Ying	
✓	6	ZHANG Lijia	
✓	7	GUO Qiu	
✓	8	ZHOU Yu	
✓	9	XU Wenyu	
✓	10	CHEN Yang	
7	11	YUAN Meng	
7	12	TU Yidan	
6	13	LI Hong	
21	18	DONG Danyang	
6	20	ZHONG Mengling	
✓	21	ZHONG Jiaqi	
✓	25	TANG Wanli	
6	29	ZHANG Jinrong	
	30	OUYANG Huarui	GK
✓	32	YU Yaran	GK
監督		WENG Haiqin	
UMPIRE		KIM Yoon Seon (KOR)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	20	永井 葉月	FG	1-0
JPN	32	湯田 葉月	PC	2-0

Country	Min	Name	Action	Score

1st Period

日本のセンターパスにより前半戦が開始される。日本は自陣でボールを繋ぎサイドチェンジから前線にボールを入れていく。逆に中国は、ラインをさげ全体をコンパクトにしながらか対応する。お互いに様子を伺いながらの立ち上がりとなる。8分、サークル内で#13三橋がPCを取得する。このチャンスに#4藤井がシュートするがGKに弾かれる。12分、ライト側より攻め込み#17狐塚がシュートするが、これもGKに阻まれる。15分にPCを取得するが得点することができない。

2nd Period

日本は、さらに激しくプレッシャーをかけチャンスを作りだそうと試みる。20分、相手コートのプレスから#14清水が奪うと、#9永井葉月にボールが渡る。このボールを受けた#9永井葉月がGKをかわしリバースシュートを決め先制する。この後も日本が優勢に試合を進め1-0で前半戦が終了する。

3rd Period

中国のセンターパスにより後半戦が開始される。32分、ライト側からサークル内へ攻め込みPCを取得する。#3浅井のスィープから#8真野がタッチしたボールがリバウンドとなり、#10湯田がダイレクトで押し込み追加点をあげ2点差とする。日本は、全体をコンパクトに保ちながら中国に攻め込む隙を与えない。

4th Period

日本はアウトレットコントロールしながら試合を進める。中国のミスも目立ち中盤での攻防が続く。日本は自陣でパスを回しながらチャンスを伺うが決定的な場面を作り出すことができない。このまま試合をコントロールした日本が中国の攻めをかわしながら2-0のまま試合が終了する。

【第3戦】 v MALAYSIA (2日：日本時間19時)

日本	3	PC数	0	中国
	3	シュート数	1	

記載責任者：長谷部謙二
校閲：山野 秀一